

第70回接続料の算定等に関する研究会での議論を踏まえた 追加質問及び回答

加入光ファイバ等の提供遅延に係る要請に基づく NTT東日本・西日本からの報告結果関係

問 加入光ファイバの提供遅延の状況について、主要事業者別の状況をお示してください。

(佐藤構成員)

出所：「日本電信電話株式会社及びNTTグループ各社における公正競争の確保に向けて講ずべき措置について（要請）」に基づく直近1年間（令和3年10月から令和4年9月まで）の、NTT東西における各種手続についてのリードタイムの報告

<加入光ファイバ シェアドアクセス (即決)>

※NTT東日本については光サービス卸を含む。

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



<光サービス卸 (即決)>

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



■ 0日～7日間 ■ 8日～14日間 ■ 15日～21日間 ■ 22日～28日間 ■ 29日～42日間 ■ 43日間以上

<加入光ファイバ シェアドアクセス (非即決)>

※NTT東日本については光サービス卸を含む。

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



<光サービス卸 (非即決)>

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



■ 0日～7日間 ■ 8日～14日間 ■ 15日～21日間 ■ 22日～28日間 ■ 29日～42日間 ■ 43日間以上

〈加入光ファイバ シングルスター〉

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



(参考) NTTによる要因分析

- ・加入光ファイバシングルスターのリードタイム①及び②について、においては、全て基地局用途でありルーラルエリアでの提供が多いという性質上、設備設計や構築に時間を要するため、リードタイムが長期化した。
- ・リードタイム③については、MNO事業者 は、基地局開設日に併せて光回線の開通を行うことから、基地局開設日に工事日が左右され、リードタイムが長期化した。

■ 0日～7日間 ■ 8日～14日間 ■ 15日～21日間 ■ 22日～28日間 ■ 29日～42日間 ■ 43日間以上

<加入光ファイバ シェアドアクセス (即決)>

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)



リードタイム② (申込み～提供可能時期)



※NTT西日本については光サービス卸を含む。

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



(参考) NTTによる要因分析

- ・加入光ファイバシェアアクセス(即決)のリードタイム②における の開通納期長期化は、既設設備(所外8分岐スプリッタ等がない場合に当該設備の構築を行う必要があったことが要因である。リードタイム③については、最終的には接続事業者とエンドユーザ間で工事日を決定しているため、事業者都合で長期化している。

<光サービス卸(即決)>

リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)



リードタイム② (申込み～提供可能時期)



リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



(参考) NTTによる要因分析

- ・光サービス卸(即決)のリードタイム③について、一部事業者においてはエンドユーザとの間で工事日を決定しているため、事業者都合で長期化している。

■ 0日～7日間 ■ 8日～14日間 ■ 15日～21日間 ■ 22日～28日間 ■ 29日～42日間 ■ 43日間以上

＜加入光ファイバ シェアドアクセス（非即決）＞

※NTT西日本については光サービス卸を含む。

リードタイム①（申込み～提供可能時期の回答）

リードタイム②（申込み～提供可能時期）

リードタイム③（提供可能時期～工事実施日）

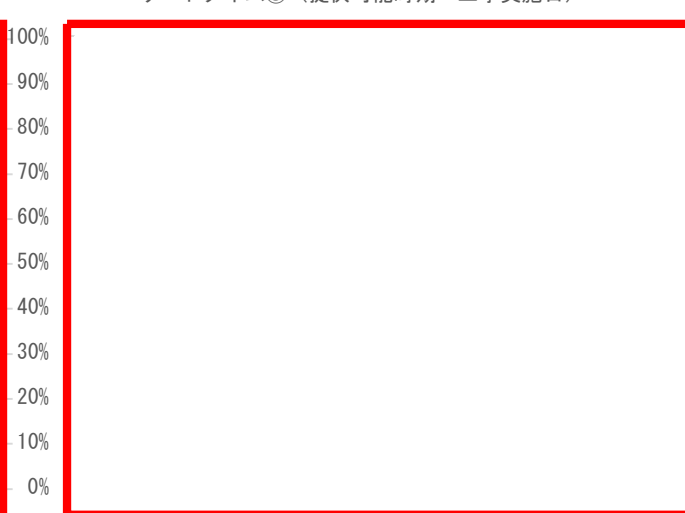
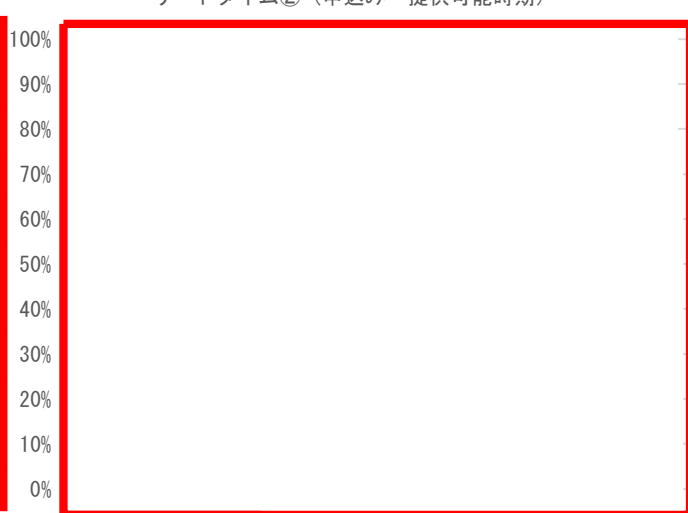


＜光サービス卸（非即決）＞

リードタイム①（申込み～提供可能時期の回答）

リードタイム②（申込み～提供可能時期）

リードタイム③（提供可能時期～工事実施日）



（参考）NTTによる要因分析

- ・光サービス卸（非即決）のリードタイム①及び②について、令和3年5月にNTT西日本で発生した光サービスの受付システムトラブルで全社的にコラボオーダが長期化していた中、結果として事業者ごとに差分が出た。
- ・リードタイム③については、上記リードタイム①及び②の影響を受けたことに加え、事業者とエンドユーザ間で工事日を決定しているため、事業者都合で長期化している。

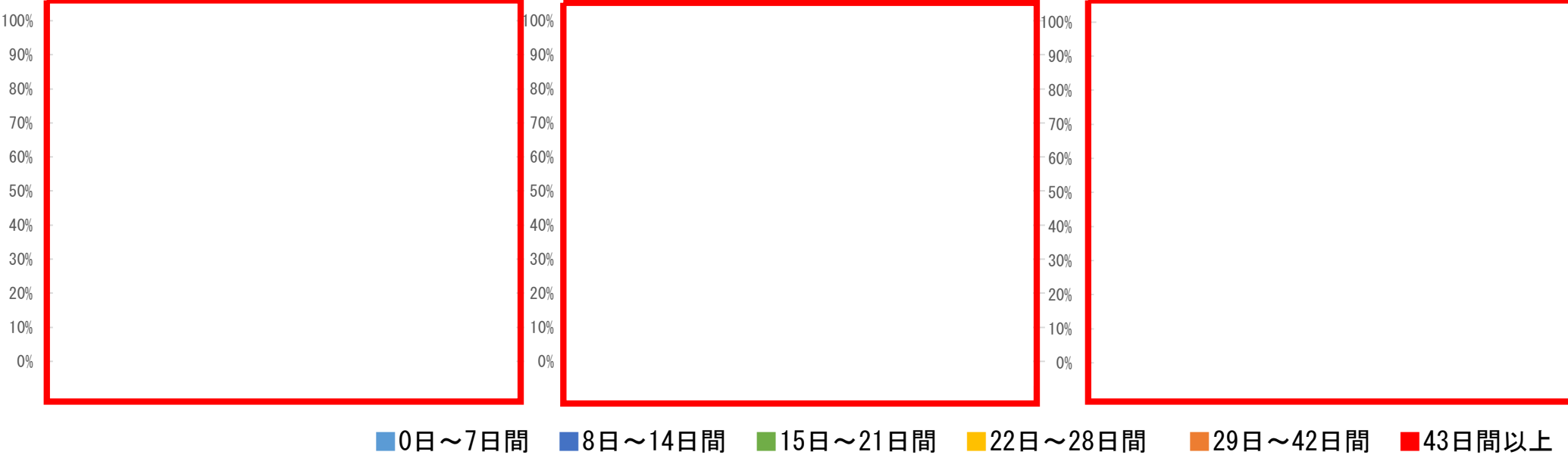
■0日～7日間 ■8日～14日間 ■15日～21日間 ■22日～28日間 ■29日～42日間 ■43日間以上

＜加入光ファイバ シングルスター＞

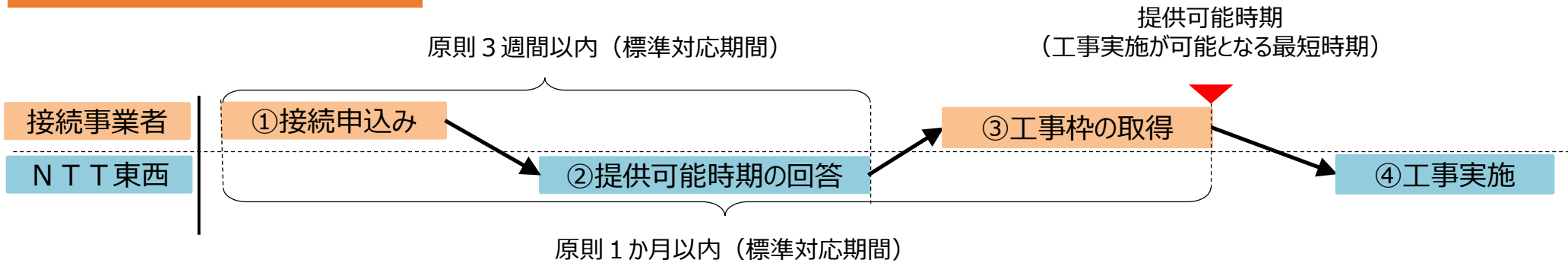
リードタイム① (申込み～提供可能時期の回答)

リードタイム② (申込み～提供可能時期)

リードタイム③ (提供可能時期～工事実施日)



加入光ファイバ提供までのフロー



- 接続約款において、提供可能時期の回答は原則として申込みの到達から3週間以内に回答すること、提供可能時期は原則として申込みの到達から1か月以内とすることとされている。
- 一方、「光屋内配線の調査に時間を要する」場合 (提供可能時期の回答) **【例外①】**、「光屋内配線を利用可能とするための準備に時間を要するとき」又は「利用者の建物の光配線盤まで既設の光信号端末回線がないとき」等の場合 (提供可能時期) **【例外②】**においては、標準対応期間(3週間/1か月)を超えることがあるとされている。
- また、「大量の申込みを一時に受け付けた場合」又は「大量の申込みを既に受け付けている場合」等の特別の事情があるとき **【例外③】**にも、3週間/1か月を超えることがあるとされている。